

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
17	川崎市立旭町小学校	添野 雅美

学校教育目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気な子(未来に希望をもち、健康で安全な生活習慣を身につけ、まわりを元気づける強い意志をもつ子) ・最後まで頑張る子(最後まで自他の学びを追求し、協力して課題を解決しようとする、生きる力をもつ子) ・人のためにつくす子(勤労、奉仕、助け合いに喜びを感じ、実行できる子) ・心やさしい子(豊かな感性をもち、互いの個性を尊重しあい、思いやりのある子) 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力の育成(校内研究・校内研修を柱とした授業改善) ○知識・技能の習得をめざす、きめ細かな指導(情報活用能力の育成・ICTを活用した学びの充実) ○学びに向かう力・人間性の育成(児童の安全・安心な学びの保障)

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> ○正確に伝え、受け取ることばの力の育成 ○自力思考・自力判断の機会確保と育成 ○相手意識をもった表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究テーマ「話し合おう 発信しよう よりよくしよう～みんなと一緒に話し合っって課題解決できる子～」に基づく授業改善 ・教員の主体的な学びとアウトプットを重視した教員研修 ・ステップアップ研修(初任～3年目教師の校内授業研修)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かわさきキャリア在り方生き方教育」に基づく教育目標の重点化を行い、校内研究との連携を図った。また研修を通して今日的教育課題への対応を学び、教育活動に生かした。 ・校内研究では各学年・特別支援学級において授業研究及び実践を行い、子どもたちにつけたい力の育成のための授業改善に取り組んだ。 ・資質能力の育成は1年間という短い期間で達成できるものではないため、継続的な取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標と校内研究テーマ、また、その実現に向けた具体的な取組について、地域・保護者へも伝え、連携していくために情報を発信する。 ・教育活動を効果的なものにするために、子どもたち自身が目標を理解するための手立てとして教室掲示等の工夫を継続する。 ・主体的・協働的な学びについての教員の理解を深めるため、研修を実施する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○生きて働く基礎的な知識と技能の習得と活用 ○情報収集・情報活用の技能の育成 ○学びと体験学習のつながりを重視した教育課程の改編 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かわさきGIGAスクール構想」推進協力校、情報化推進モデル校等として、教職員のICT活用スキルの向上を図るとともに、GIGA端末を活用した授業改善に取り組み、授業公開を実施する。 ・子どもたちにつけたい力の育成に向けて、教育課程の工夫に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進協力校、またGoogle事例校・リーディングDX校として、EDIX総合教育展での事例発表、またGoogleアジア視察受け入れ、市立学校教員への授業公開(3回)と取組の報告を行った。 ・「かわさきGIGAスクール構想」ステップ3に向けて、情報活用能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力を育成させる場面を「情報活用能力チェックリスト」を使って教育課程に位置付け、系統的・計画的に実施する。 ・推進協力校を希望し、端末活用については今年度と同様に学習で積極的に推進する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○健康・体づくりへの知識・関心の育成 ○安全・防災知識と技能の育成 ○豊かな心と思いやりの心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で判断し、自分で身の安全を守る児童を育てる避難訓練の企画・実施 ・実際の災害等を想定した避難計画の立案 ・地域・保護者と連携した避難計画の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の危機管理担当と相談の上、児童家庭・地域の方向けの「避難所ガイド」を作成し、配布した。 ・災害発生に全員の避難を確実にするため、校内巡視を強化した避難計画に改善し、その訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者への対応について、研修等で職員の理解を深めた上、見直しと改善が必要であり、来年度計画する。 ・健康や体づくりへの知識・関心の育成については保健体育での取組を継続するとともに、水泳やスポーツテスト等の機会を活用して指導していく。外部人材の活用も検討する。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA端末をよく活用している。使うことを目的とするのではなく、目標を達成するための手段として使うことが大切なことであるという点はよく理解できる。技術を身につけて、正しい使い方ができるようになってほしい。体験活動も重視してほしい。 ・相手のことを考えてGIGA端末を使えるようになることが大切。 ・旭町小での端末活用が中学校でも継続されることを熱望する。 ・検索で制限がかかることがあるので、必要なことは調べられるようにさせてほしい。 	<p>今年度の学校運営では、教職員みんなで「子どもたちにつけたい力」を共通理解し、その実現に向けて学校全体で、また教育活動全体で取り組んでいくことを大きな目標とした。校内研究を中心として、教職員が授業を見合い、改善に取り組んでいる。また新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから体験活動や対面での活動が増えたことも特徴であった。本校の児童に必要な内容を検討し、精選していくことを続ける。</p> <p>読書活動については朝読書の時間を設定し取り組んでいる。ボランティアの方々の協力もあり図書館の環境も子どもたちにとって心地良いものとなっており、今後も継続していただけるようお願いしていきたい。</p> <p>令和7年度の創立100周年、また来年度の市制100周年を機に、子どもたちの地域への理解と愛着を深め、社会参画の意識を醸成していくことが大きな課題であると考えている。保護者・地域の皆様と共に子どもたちを見守り、育てることを重視する学校の姿勢を伝えていきたい。</p>